

さわやかライフ

SawayakaLife

姫路赤十字病院 広報誌

一般の部

医療安全推進週間の一環として
「医療」「安全」を題材に募集した川柳をご紹介します

臥せし人	集へる多い	病魔窟	香西 雨華
効果あり	信じりハビリ	今日も励む	香西 雨華
誰かしも	ゴットハンドを	持ち得たい	香西 雨華
仁術は	思いが届く	看者から	香西 雨華
冥土見た	此身が残る	ありがたさ	香西 雨華
脈取ると	暖かさこと	神の手か	香西 雨華
その言葉	心と体の	SOS	藤本 理紗
新世界	光感じる	コンタクト	藤本 理紗
冬休み	体落ち着く	こたつむく	藤本 理紗

スタッフの部

こけないか？ 貧血、熱、眠剤 要注意!!
 あわわわわ 忙しい時こそ もう一度
 確認は 患者が名のる フルネーム
 自己管理 してもみんな 間違る
 夜中こけ 朝につたえる 患者さん
 だいじょうぶ その思い込みが いのちとり
 あのとときに も一度確認 防げたミス
 ひとりより ふたりで確認 あんしんだ
 くつ履いて！ ふらつく前に 予防から
 何か変 そう感じたら 確認を
 堤 絵美

四季を撮る

『馬場コスモスまつり』

休耕田約5haに栽培されたコスモスは、10月上旬から中旬にかけて満開となり、紅・白・ピンクと色鮮やかに大地を染め尽くします。花の摘み取りも楽しむことができ、10月中旬の日曜日には、「馬場コスモまつり」が開催されます。

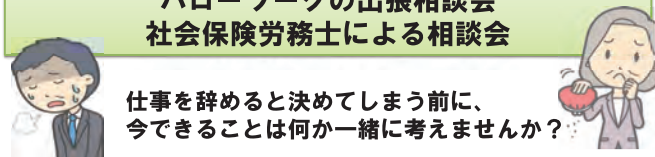
(2021年10月撮影：写真提供・記事 西詰 昌平)



お仕事に関する相談会のご案内

当院では次のような**就労に関する相談会**を実施しています。

ハローワークの出張相談会
社会保険労務士による相談会



ハローワークの出張相談

- ・毎月第2火曜日
14:00~16:00
- ・完全予約制

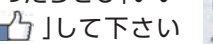
社会保険労務士による相談会

- ・毎月第4金曜日
13:30~17:00
- ・完全予約制

お問い合わせはお電話または相談支援センター窓口へどうぞ。
電話 079-294-2251（代表） 079-299-0037（直通）

フェイスブック
facebook しています!

みなさん、知っていますか？ 当院ではFacebookで、日々の院内外の活動を発信しています。Facebookのページは登録していなくても、誰でも見ることができるので、携帯やパソコンから一度ご覧下さい。記事が良かったらぜひ「いいね!👍」して下さいね。



<https://www.facebook.com/himeji.jrc>



Contents

- | | |
|----------------------------------|---------------------------------|
| ○ 診療科のご紹介：呼吸器内科 …………… 02~03 | ○ 栄養課だより 水分補給のポイント …………… 09 |
| ○ 小児センターのご紹介・小児麻酔について … 04 | ○ 看護学校だより 利用者さんに笑顔と癒しを …………… 10 |
| ○ 患者満足度調査 …………… 05 | ○ 相の会 …………… 10 |
| ○ 病院機能評価受審を終えて …………… 05 | ○ 救護看護婦像へ献花 …………… 11 |
| ○ 臨床研修医・歯科医の「さわやかさん」たち …… 06 | ○ Free Wi-Fi サービスを開始 …………… 11 |
| ○ リハビリテーションだより …………… 07 | ○ 院内講座のご紹介 …………… 11 |
| ○ 看護部だより 心を込めた看護を …………… 08 | ○ アンケートへのご協力お願い …………… 11 |
| ○ 検査技術部だより 病理検査とは？ …………… 08 | ○ 医療安全川柳 …………… 12 |
| ○ 薬剤部だより 家に置いておいた薬はいつまで使える？ … 09 | ○ 四季を撮る …………… 12 |

表紙写真：臨床研修医・歯科医

診療科のご紹介

呼吸器内科

チーム医療で呼吸器疾患に対応します

呼吸器内科 左から
中村 香葉
呼吸器内科副部長
真下 周子
呼吸器内科副部長
岸野 大蔵
呼吸器内科部長
野海 拓
医師

呼吸器内科は現在、常勤4名と応援医1名のスタッフにて診療を行っております。呼吸器外科と連携し、呼吸器センターとして肺・気管支などの呼吸器治療に取り組んでいます。

外来診察室だけでなく、病棟でも外科と内科が同じフロアで診療しているため円滑なチーム医療が達成されています。主な診療内容は呼吸器悪性腫瘍、呼吸器感染症、気管支喘息、閉塞性肺疾患、間質性肺炎、肉芽腫形成疾患等です。特に多くの割合をしめる疾患は肺がんです。肺がんの初期段階では自覚される症状がほとんどないことが多く気づきにくい割に、他のがんと比べて進行が早く、転移をしやすいという特徴を持っています。

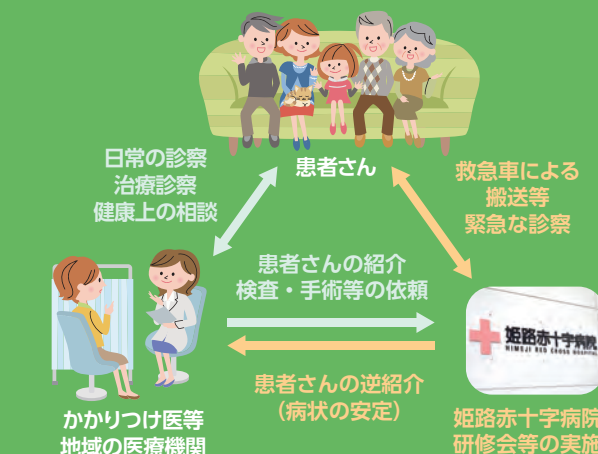
早期の画像検査が重要であり、異常が見つかった

場合には気管支鏡による診断を積極的に行っています。診断確定後はPET-CT等により病期診断を行い、ガイドラインおよびエビデンスに基づいて治療方針を決定いたします。近年、免疫チェックポイント阻害薬が導入され治療成績の向上が認められています。手術、化学療法、放射線治療などを組み合わせる集学的治療が必要な場合やCTガイド下生検が必要な場合には呼吸器カンファレンスを開催し放射線科とも連携いたしております。また、より良い日常生活を送っていただけるよう医師だけでなく、看護師、薬剤師、理学療法士、ソーシャルワーカー、臨床検査技師等多くの職種と共にチーム医療を心がけています。

呼吸器内科部長 岸野 大蔵

＼ 姫路赤十字病院を受診される皆様へ / かかりつけ医をもちましょう

かかりつけ医とは、日常的な健康管理や風邪をひいた時、あるいは体調などに不安を感じた時、慢性期の継続的な治療が必要な時にかかる診療所や医院の医師のことです。入院や専門的な治療が必要な時には、かかりつけ医からのFAX紹介で大きな病院にかかりましょう。



姫路赤十字病院は、「地域医療支援病院」です。

地域医療支援病院とは？

紹介患者中心の医療を提供し、病状が安定した患者さんはかかりつけ医へ逆紹介し、切れ目のない医療の提供を行います。また、救急医療・地域医療の中核を担う体制を整えた病院が「地域医療支援病院」として各都道府県知事より承認を受けております。



正面玄関入って左手に「かかりつけ医の紹介」ブースを設けています。姫路市内の医療機関については、姫路市医師会のホームページから検索して印刷できるようパソコン

を設置しています。姫路市以外の医療機関については、リーフレットを置いてありますので自由にお取りください。また、「かかりつけ医」のご相談にも応じています。

姫路赤十字病院 地域医療連携室

TEL : 079-294-2251 (代)

＜がん治療に必要不可欠なバイオマーカー＞

肺がんの治療薬には薬物療法、免疫療法があり、薬物療法には細胞障害性化学療法薬と分子標的薬があります。とくに分子標的薬ではがんの遺伝子を調べることでお薬の効きめを予測することができるようになってきました。この指標となる遺伝子を「バイオマーカー」と呼んでいます。これを予め調べることで、高い治療効果が得られる可能性がある人だけを選択することができ、最適な個別化された治療につながります。特に肺がんでは使用できる分子標的薬の種類が増えつつあり、以前はこれを一つ一つ調べていたので時間も時間もかかっていました。現在は、初回治療前に肺がんの使用できる分子標的薬のみに特化されたがんゲノムパネル検査で一度に多くの「バイオマーカー」を調べることが可能となっています。



小児センターのご紹介

小児センターでは、小児科・小児外科疾患の患者さんの他、耳鼻科、脳神経外科、形成外科、口腔外科等の病気で入院が必要な小児の患者さんを診療しています。小児専用病棟として46床あり、様々な病気のお子さんや人工呼吸器などの医療的ケアが必要な基礎疾患をお持ちのお子さんの対応に慣れた看護師が看護にあたります。医師、看護師の他、病棟担当薬剤師、小児担当の理学療法士、心理士、保育士、ソーシャルワーカーが連携し、身体だけでなく、精神、社会的問題にも対応しています。

地域のクリニックと連携しており、風邪等の一般診療や予防接種等はクリニックで、専門的な病気の通院や入院が必要な場合は、必要に応じて御紹介いただいています。また、小児科・小児外科で緊急入院が必要な場合は24時間対応しており、クリニックや姫路市休日・夜間急病センターからの御紹介をお受けしております。中播磨・西播磨地域の小児基幹病院としての機能を維持できる様、地域の病院・クリニックと役割分担しながら、地域のお子さんの健康を守っていききたいと思います。

小児センター長 高見 勇一



小児センター 小児科



小児センター 小児外科

小児麻酔について

子どもが手術室で手術を受ける場合、ほぼ全症例全身麻酔を行います。普段の生活とは異なる環境、雰囲気、周りが医療スタッフばかりということで、大人も緊張する場面です。

お子さんが手術を受けるに当たり、心電図シールにキャラクターを用いる、酸素マスクに香りをつける、手術ベッドにキャラクターシーツを敷く、といったことを実施しています。また年齢は限られますが、手段の一つとして遊びを用いた方法で手術部屋への入室を行っています。手術部屋への道を付き添いのご家族や担当看護師と一緒に“探検”し、自ら進んで手術室へ入っていくなどの遊びを通して恐怖心を少しでも和らげ、また子どもが自ら動くことで、成功体験により手術を前向きに捉えることができるよう支援しています。

お子さんに付き添われているご家族の心配も大きいことと思います。不安が少しでも軽減できるよう麻酔導入まで一緒に過ごして頂いています。

心身の発達速度や手術を受ける背景は、子ども一人一人異なります。他職種や小児病棟と協力し合い、その子に寄り添った看護が提供できるよう日々努めています。

手術室 看護師 高畑 和子



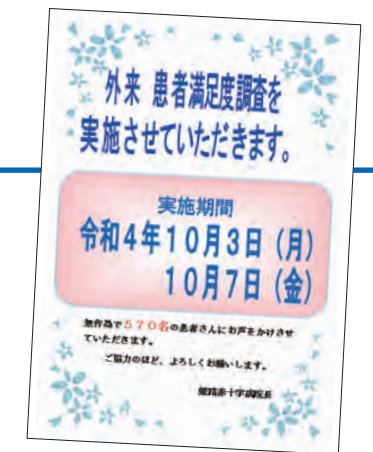
患者満足度調査

当院は、病院の理念に基づき、良質で安全な医療を提供し、地域における信頼ある病院作りを目指しております。そこで、外来および入院されている患者さんを対象に、1年に1回満足度調査（アンケート）を実施しています。結果はホームページやこの「さわやかライフ」に掲載しています。



アンケートの結果やご意見を、ホスピタリティ向上のための資料とさせていただきますので、ご協力をお願い申し上げます。

総合相談支援課長 志水 真弓



期 間	
外来	令和4年10月3日・7日
病棟	令和4年10月3日～14日

病院機能評価受審を終えて

令和4年9月7日（水）・8日（木）の2日間にわたり財団法人日本医療機能評価機構の病院機能評価を受審しました。当院は2002年に初めて受審し、5年おきの更新審査となりますが、今回で5回目となります。

病院機能評価とは、国民が安全で安心な医療を受けられるよう、病院組織全体の運営管理及び医療提供を評価し、組織横断的な質改善活動を支援するツールと位置づけられております。当院は、地域住民の皆さんに質の高い医療を安全に提供するためのプロセスを見直し、改善策を組織全体に浸透させるための最良の機会として病院一丸となって取り組みました。

審査ですが、1日目の午前中は、第1領域中心の幹部面接、午後からは3グループに分かれ、①ケアプロセス2病棟・救急外来、②ケアプロセス2病棟・一般外来、③第4領域中心の事務部門面接・部署訪問（診療情報管理部門・防災管理・備蓄倉庫・栄養部門など）を実施しました。2日目は、2グループに分かれ、①各部署訪問（臨床研修・入退院センター・地域連携・相談部門・検査部門・内視鏡・手術室・ICU・周産期）、②各部署訪問（放射線、薬剤、医療機器、リハビリ・中央滅菌、医療安全・感染管理）を実施し、午後に講評を頂きました。今回の病院機能評価受審を通して、「安全で良質な医療の提供」を目的とした多職種チームによる「業務改善活動」の継続と評価を行いながら長い期間をかけて準備をしてまいりました。この準備を通して病院全体で業務の改善を検討し、医療の質を向上させるきっかけを作ることができたと考えています。今回で終わりではなく、これからも「働きたい病院・治療を受けたい病院」を目指し、また地域住民の皆さんに質の高い医療を安全に提供するために、当院が地域の中心となって高度な医療を提供できるよう、継続して改善していきたいと考えております。

安全で良質な医療の評価プロジェクトリーダー 中村 進一郎



講評



放射線部門



臨床検査部門



ケアプロセス調査

臨床研修医・歯科医の 「さわやかさん」たち 寄り添い向き合う医師を目指して

4月より総勢14名の個性豊かな同期と共に初期研修がスタートしました。臨床研修部は歯科研修医3名、2年目の先輩方14名と合わせて総勢31名で賑やかに日々精進しています。

私たち初期臨床研修医の業務は2年間にわたる各科のローテーションを通し、その科で担当患者さんの診療にあたり医師として基本的な仕事、考え方、診療手技を身につけるところから始まります。

多くは1ヶ月ごとに科を移るため、各科の知識の整理や新しい学びを経験するのに追われ忙しくはありますが、各科の先生方や病棟のスタッフの方々の熱心な指導のもと、充実した研修生活を送っています。

初期研修医として、疾患について学んでいくのももちろん大切ではありますが、患者さんの心にしっかりと寄り添うことも大事にしていきたいです。今どういうことに困っているのか、治療後はどのようにしていくのか、目の前の患者さん一人一人としっかり向き合い、その患者さんに合った医療を提供できる医師になりたいと思います。

まだまだ不慣れな姿をお見せしてしまうこともあると思いますが、温かくご指導していただければと思います。

臨床研修医 小杉 兼司



臨床研修医・歯科医

臨床研修医・歯科医のお仕事

病棟業務

入院している患者さんの健康状態を常にチェックし、指導医と相談しながら検査や治療方針を決定、実行していきます。疾患について学ぶだけでなく、患者さんへの話し方、手技についてなど幅広く学んでいます。また、患者さんの退院後の生活などについても視野に入れながら、業務にあたっています。



病棟業務

総合内科症例カンファレンス・抄読会

月曜日と金曜日に研修医が1人ずつ自分の症例を発表し、症状や問診から鑑別を挙げ、診断までのプロセスを学び日々の診療に活かせるようなカンファレンスが行われます。火曜日には英語論文を担当日までに数人で読みまとめ、その内容を同期の皆に発表し知識のアップデートをおこなっています。



呼吸器内科ミニレクチャ

検査・処置の補助

内視鏡や気管支鏡、カテーテル操作などの手技を身につけるために、最初は指導医の補助を行いながら手技について学び、その後は実際に処置を行います。最初はなかなか順調にいきませんが、練習と実践を繰り返して上達していきます。



内視鏡

リハビリテーションだより

転ばぬ先の
つえ
その4

今回は、杖歩行の方法についてご紹介します。

杖を使った歩き方には「3動作歩行」と「2動作歩行」の2種類の歩き方があります。身体の状態に合わせて調整しましょう。3動作歩行は、杖を初めて使う時や足に痛みがある場合の方法です。2動作歩行は杖歩行に慣れてきた方、足に痛みはないが少し不安定、長時間歩くことに不安のある方の歩き方です。杖の持ち方は前号でも紹介しましたが、痛みや筋力低下がある側と反対側の手で持つことが基本です。

● 歩き方

〔3動作歩行〕

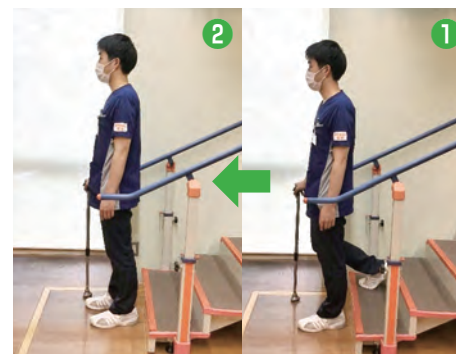
- 1 痛みのない側の手で杖を握り、杖を前へ出す。
- 2 痛い側の足を前に出す。
- 3 反対の足を前に出す。
- 4 ①～③を繰り返しながら歩きます。

常に杖か足の二点で支えられているため安定感があり安心です。しかし、歩行スピードがゆっくりになるため、もう少し早く歩きたい方は2動作歩行をお勧めします。



〔2動作歩行〕

- 1 痛みのない側の手で杖を握り、杖と痛みのある足を同時に前へ出す。
- 2 痛みのない足を出す。
- 3 ①～②を繰り返しながら歩きます。



● 階段の上り・下り

〔階段を上るとき〕

- 1 上の段に杖を乗せ、良い方の足を上げる。
 - 2 痛い方の足を上げる。
- *痛みが強い時は、交互に上らずに一段ずつ足を揃えながら上りましょう。

〔階段を下るとき〕

- 1 下の段に杖を乗せ、痛い方の足を下ろす。
 - 2 良い方の足を下ろす。
- *痛みが強い時は、交互に下りずに一段ずつ足を揃えながら下りましょう。
*上りと下りで順番が逆になるので注意しましょう。階段は、上りよりも下りの方が膝折れしやすく危険です。手すりがあれば必ず持つようにしましょう。



看護部だより

心を込めた看護を

患者さんとその家族に寄り添う看護をめざして

ICU 看護師長 柳瀬 由美子

ICU（集中治療室）は、10床です。医師は主治医と麻酔科医師の協働で治療を行っており、看護師は2：1の看護体制（常時、患者さん2人に対し1人の看護師が担当）をとっています。その他にも、臨床工学技士、理学療法士、管理栄養士、薬剤師など多職種によるチームで医療の提供を行っています。ICUでは、手術後や疾病・事故などにより重傷、重篤な状態になっている患者さんを24時間受け入れています。

重症な状況で安静にしていると筋肉が衰え、内臓の機能も低下し、回復が遅くなることがあるので、チームで安全に早期離床、リハビリができるよう取り組んでいます。また、ICUでは、重症な身体状況や慣れない環境のため一時的に混乱状態になる方もいます。ご自宅での様子を伺いながら時計やカレンダー、写真など用いて予防にも力を入れています。

ICU入室時には、患者さんやその家族に精神的不安も大きく、いろいろな意思決定が必要になります。今年度から、重症患者支援担当師長も加わり、患者さんとその家族の思いを聴いて意思決定支援を行い、気持ちに寄り添う看護を大切にしています。

今後も患者さんと家族の思いに寄り添う看護を目指して、心を込めて看護を行っていききたいと思います。



検査技術部だより

病理検査とは？

病院で行われる病理検査

一般的には組織の検査や細胞の検査を含めて病理検査と呼ばれています。どちらの検査も採取した検体を顕微鏡で診断しますが混同しがちです。少しだけ整理しておきましょう。

①**組織検査**：臨床の医師により色んな病変から組織診断を行うために小さな組織を採取します。※胃の中をファイバースコープで観察し組織の一部を採取→生検あるいはバイオプシーと呼びます。○病理標本を作製（臨床検査技師）○顕微鏡で診断します（病理専門医）

②**細胞診検査**：組織検査が難しい場所でも癌の診断が可能な場合もあります。頭頸部と呼ばれる頸の周りには腫れ物ができることがあります。頻度の高い甲状腺や唾液腺、リンパ節などに炎症や腫瘍による腫れ物ができた場合には、侵襲の少ない細胞診が選択されます。※超音波で病変を確認しながら注射器で穿刺して細胞を吸引します。

検査技術部技師長(兼)病理検査課長 春名 勝也

○その場で細胞処理を行います（細胞検査士）
○顕微鏡で観察し診断します（細胞検査士・細胞診専門医）

◎病院では病理検査の専門知識や資格を有した医師や検査技師が協力しながら業務を遂行しています。



さわやかだより

各部・各課のスタッフから健康や医療の情報について紹介します。



薬剤部だより

家に置いておいた薬はいつまで使える？

薬の使用期限

病院で処方された薬がどのくらいの期間使っているのか悩んだことはありませんか？

錠剤、粉薬、液剤など薬には色々なタイプのものがあり、おおよその保管期間は異なります。また保管しているときの環境（例えば、気温や湿度など）も影響します。

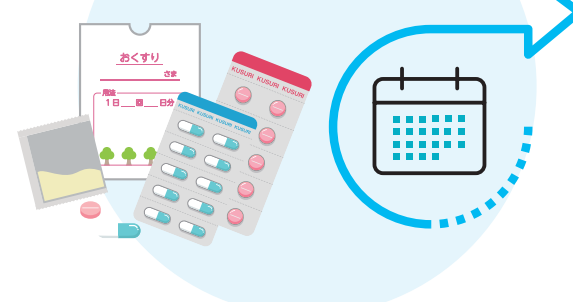
目安として、カプセルや錠剤は6～12カ月、粉薬は3～6カ月 となりますが、気になる場合は薬を受け取ったときにそのつど薬剤師にお尋ね下さい。

液剤は水や糖分を含むため、細菌の繁殖を想定しなければなりません。液剤の場合は、早めに使用すること、可能なら冷蔵庫で保存するほうが良いでしょう。数カ月間冷蔵庫で保管した液剤の使用について考えた場合、危険が伴います。例えば、数カ月冷蔵庫で保存した開栓済みのペットボトルのジュースを飲むかと問われれば、飲まないの方がよいでしょう。液剤の場

薬剤部 製剤係長 大里 勇二

合は早めに使用することを覚えておきましょう。このように薬のタイプによっても保管できる期間は違うため、自分の使い方に合った薬のタイプを薬剤師に相談してみましょう。

目安として…
カプセルや錠剤は6～12カ月、粉薬は3～6カ月



栄養課だより

水分補給のポイント

正しく水分補給できていますか？

栄養課 管理栄養士 杉山 智美



朝晩は過ごしやすくなって来ましたが、日中は、日差しが強く暑い日が続いています。熱中症や脱水症になっていませんか？

コロナウイルス予防のため、マスクを着用していると熱中症や脱水症になるリスクが高くなります。水分補給を正しく行い、熱中症や脱水症を防ぎましょう。

水分補給のポイント

①こまめに水分補給をしましょう

脱水症の予防には、こまめな水分補給が大切です。一度に沢山飲んでも排泄されてしまい、蓄えられません。「のどが渇いたときに飲む」という方もおられますが、そう感じた時には、すでに体が脱水状態になっていることもあります。

②水やお茶で水分補給をしましょう

ジュースや缶コーヒーには大量の砂糖が含まれます。飲みすぎると、エネルギーや糖質の摂りすぎになり肥満や生活習慣病の原因にもなります。

また、アルコールやカフェイン飲料も水分補給には適していません。アルコールやカフェイン飲料には、利尿作用があ



るため摂取した水分以上の水分が体外に排出されてしまいます。

③汗をかいた時は、電解質の補給も忘れずに！

汗をかくと、水分だけでなく電解質（カリウム、ナトリウムなど）も失われます。発熱、運動などにより大量に汗をかいて水分を失った場合、電解質を含まない水やお茶で水分補給を行っても、のどは潤いますが水分は体に蓄えられません。大量に汗をかいたときは、電解質に配慮した経口補水液で水分補給を行うようにしましょう。



※腎臓病や心臓病などで水分制限がある方は、かかりつけの医師に相談しましょう。

看護学校だより

利用者さんに笑顔と癒しを

コロナ禍での学生奉仕団の活動の様子

姫路赤十字看護専門学校には、4つの学生奉仕団があり、その中に施設訪問班があります。コロナ禍以前は、地域の老人保健施設を定期的に訪問し、ボランティア活動を行っていました。ボランティア活動を通し、学生は、高齢者の特徴を学び、コミュニケーション能力を身につけます。施設の利用者さんには、学生の訪問により日常生活に変化をもたらし、学生とのふれあいを楽しんでもらう機会としていました。

しかし、コロナ禍で直接施設を訪問する活動は自粛



姫路赤十字看護専門学校 専任教師 石谷 尚美

し、方法を変え活動しています。施設では、利用者さんの外出機会も減っています。そこで、利用者さんに季節の移ろいや癒しを感じられるよう、敬老の日に合わせて、祝品を贈らせていただきました。学生は、施設を利用される高齢の方への敬意と健康を願い、祝品の作成にあたりました。コロナ禍であることを考慮し、祝品の作成には感染予防対策を徹底し、利用者さんの笑顔と癒しの機会になる事を願い、心を込めて取り組みました。学生たちの願いが利用者さんに届くことを願っています。



相の会は、すべてのがん患者さんと家族が対象の患者会です。

『相の会』のはじまり

「がんを生き抜くためには、同じ体験をした人との交流が必要。同じ悩みを持つ仲間と集まり、わきあいあい(相相)と過ごし、気持ちを楽にしながらがんと共に生きる力を持ちましょう」と訴えかけた婦人科の患者さんの思いが始まりです。

現在の「相の会」

平成15年に発足し、当初は婦人科の患者さんのみが対象でしたが、他科の女性患者さん、男性患者さんと少しずつ対象を拡大し、現在は当院への受診の有無に関係なく「すべてのがん患者さんとその家族」を対象としています。

不安との付き合い方

2021年6月から毎月開催している【オンライン相の会】も1年以上経過しました。「いつか直接会って語り合いたいな。」と思いながら、画面越しの会話にも少し慣れてきました。最近はテーマを決めて語り合っています。6月のテーマは「不安との付き合い方」でした。

5年10年経過して、周囲から「もう大丈夫だね」と言われても、常に付きまとう再発への不安。少し体調を崩しただけで「再発かも」と思ってしまう。そんな不安にどんなふうに付き合いやすいのかを話し合いました。

楽しみを見つける。やりたいことをやってみる。今の不安は「現実のものか」「頭の中で想像しているものなのか」区別する。不安は見えないのでイメージ（見える化）する。例えば不安を「洪水」とイメージして、洪水を消すのではなく、洪水から逃げる方法や、水の流れを変える方法を考える。不安を数値で表してみる…など、認知行動療法についても意見が出ました。

このように「不安」について、みんなで語り合うことが大切で、安心して「不安」について語ることができる「場」として「相の会」が存在するのだ、という意見もありました。

これからも参加者が安心して語れる「場」を提供していきたいと思います。

一人で「不安」を抱えている方はたくさんいると思います。少し勇気を出して、相の会に参加してみませんか。お待ちしております。

がん相談支援センター 井上 豊子

「相の会」についてのご相談、ご質問等は総合相談支援課(079-294-2251)または相談支援センターで受け付けています。お気軽にどうぞ。



救護看護婦像へ献花

当院では、毎年終戦の日に合わせて、第2次世界大戦中に日本赤十字社から戦地へ派遣され、殉職した救護看護婦らを追悼し、敷地内の救護看護婦像に献花と黙祷を捧げています。今年も岡田院長が追悼の辞を述べた後、参列者全員で1分間の黙祷を捧げました。

犠牲を顧みず、過酷な戦場でおびたしい傷病者を献身的に支えた先輩方に思いをはせました。



Free Wi-Fi サービスを開始

「災害時における通信手段確保」及び「ホスピタリティの向上」を目的として、病室を含む全館において無料で利用できるフリーWi-Fiサービスを開始いたしました。



Free Wi-Fi

全館無料でご利用いただけます
※混雑状況等により、電波のつながりにくい場所がございます

SSID
ネットワーク名

RedCross_FreeSpot

PASSWORD
パスワード

0792942251



健康増進講座 YouTube 配信

2020年まで、医師や看護師、薬剤師、検査技師等が演者となり、「健康増進講座」を開催してきました。コロナで一旦中止していましたが、現在YouTubeで配信しています。毎月、様々なテーマで配信していく予定です。是非ともご覧ください。



アンケートへのご協力をお願いします。

広報誌「さわやかライフ136号」アンケートへのご協力をお願いします。



スマートフォンから

右の QR コードを
読み込んでください。



パソコンから

<https://forms.office.com/r/cEfudLCehm>
からアクセスしてください。